

質問事項

R5.12.9業務説明会 回答

・研究者1人に対して研究内容を複数抱えていることがほとんどだと思われそうですが、その研究内容は今回のお話を聞き限り鮭科の分野や海水魚の分野など特定の分野の中で研究内容を抱えているように見えました。実際、全く違う分野を同時に研究を行っていたりするのでしょうか。

・2つ目になりますが、経常研究や受託研究など複数の役割が職員の方々にはあると思うのですが、それらは複数両立して行うものなののでしょうか。またそれらを行う上での楽しい点や大変なことなどありましたら教えていただきたいです。

【水産コース】

森林・木質材質コースでは林産試験場やリモートセンシング技術開発のお話が中心でしたが、種子散布などの野生動物に関わる研究を行うことはありますか。

【森林コース】

大学での専攻内容と異なる採用区分でも、受験は可能でしょうか？

採用保留の制度については、どのように申請すればよいでしょうか？

業務に支障をきたさない範囲でのイラストレーターなどの副業は可能でしょうか。

過去問の入手は可能でしょうか。

私はできれば博士までとりたいと考えているのですが、道総研で勤めながら博士をとることの難しさや、対策など教えていただきたいです。

女性研究員の割合、女性管理職の割合について教えていただきたいです。

・水産研究本部の研究部は、専門分野が異なる5つの研究部門（資源管理、資源増殖、加工利用、さけます資源、内水面資源）のいずれかに属しています（組織機構上、二つの研究部門にまたがっている場合もあります）。したがって、研究部に所属する職員は、原則として専らいずれかの一つの専門分野（研究部門）に携わることになります。そのため、一人の研究職員が異なる専門分野の研究に対し、主担当者として同時に携わることはほとんどありません。しかしながら、水産研究本部内の研究部門間、あるいは他研究本部と連携するプロジェクト的な研究課題も実施しており、それらの研究課題では参加する担当者それぞれが役割分担しつつ、連携して取り組んでいます。なお、所属する研究部門は異動により変わることもあります。

・「経常研究」や「受託研究」は研究制度（＝研究資金の調達形態）なので、一人の研究職員が異なる研究制度による複数の研究課題を同時に手がけている例は多くあります。受託研究などの多くの外部資金による研究課題では、自身で帳簿を厳密に管理し、年度ごとに契約手続きや実績報告をする必要もあるため、それらのことにもそれなりのエフォートを割く必要があります。しかしながら、多くの外部資金では、獲得のために資金提供元による審査を受ける必要があり、獲得できた場合はそれなりの評価を得ることになります。一方、経常研究などの交付金（道総研の自己資金と考えていただいてもよいです）による研究費の獲得には、道総研や各研究本部としての目標や計画に沿った研究課題を提案して実施する必要があります。いずれにしろ、それぞれの研究制度や資金提供元の価値観に応じることができる研究の提案と実施の技術を、経験を積みながら学んでいける醍醐味が、道総研にはあると考えています。

林産試験場では、中期計画に示す項目について試験研究を行っており、現在は森林資源の循環利用や森林の多面的機能の持続的な発揮のための研究を行っています。野生動物についても、このような計画に沿って研究を行っており、近年は主にエゾシカや野ネズミ、鳥類などを対象に、森林被害や生息環境の保全に関わる研究をすすめています。

専攻分野と違う区分の受験も可能ですが、採用試験では専門知識を求められる内容となっておりますので基礎知識は必要です。

今年度の手続きとしては、採用試験申込書に所定の欄があり、採用保留制度の希望について記載いただいております。来年度の試験制度については、例年2月下旬に公表しているほか、令和6年3月2日（土）に採用説明会を予定しておりますのでぜひご参加ください。

道総研の職員は、職務専念義務が定められており兼業については、職務上の関連があるものなどに限り許可されます。なお、副業やアルバイトに係る兼業は許可しておりません。

過去の受験問題は公開していませんが、ホームページ上に専門試験の出題例を掲載しておりますので参考として下さい。
https://www.hro.or.jp/upload/550/05-R5senmon_mondairei.pdf

仕事をしながら博士号を取得している職員もいます。また、修学部分休業制度があり、制度を利用して博士号を取得することも可能です。業務と論文執筆で苦勞するところもありますが、一部研究が重複できる部分もあり先輩方の助言を得ながら取り組むこともできます。

女性管理職の割合はR5.6.1時点で8.6%となっております。職員の構成比については右図を参照してください。

